

個人 8

受 令和 5 年 2 月 22 日
付 (午前)・午後 9 時 38 分

一般質問 (代表 (個人) 通告書

2023 (R5) 年 2 月 22 日

尾張旭市議会議長 殿

日本共産党尾張旭市議団

氏 名 川村 つよし

尾張旭市議会会議規則第 50 条第 1 項の規定により 3 月定例会において別紙のとおり質問したいので通知します。

なお、質問事項の件数及び質問方法は、下記のとおりです。

記

1 質問事項 6 件

2 質問方法

	1 回目 一括質問、一括答弁 再質問以降 質問事項 (大項目) ごとの一問一答
<input checked="" type="radio"/>	1 回目から 質問事項 (大項目) ごとの一問一答

↑ 選択する方法に○を付す。



質 問 事 項 No. <u>1</u>	子どもの預け先について
要 旨	<p>(1) 保育園の待機児について 保育園の待機児などの現状と解消のめど、育休退園についてもいつ解消できるか。</p> <p>(2) 保育料の減額について 基本的に高すぎる。女性の社会進出を促す上でも、保育料をもっと減額すべきだと考える。全国的には第2子以降の保育料を無料とする自治体もあるが、当市で行うとすると課題はなにか。</p> <p>(3) 学童保育や放課後児童クラブについて 名古屋市のトワイライトが好評な理由は金額と預けやすさということだろう。学童保育や放課後児童クラブは、専業主婦が多く存在していた時代から続くもので、保護者が共に働く家庭の児童の安全な居場所を確保し、保護者も安心して預けることのできる場所として継続してきた。その認識の上で考えると、専業主婦が一般的でなくなった時代に、制度設計の見直しが必要なのではないか。</p> <p>全児童対策として、就労状況に関係なく、子どもが安全に安心して過ごせる居場所づくりをどう進めるかが課題と言えるのではないか。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>2</u>	教員不足の解消について
要 旨	<p>(1) 尾張旭市における小中学校の教員不足状況について 現状を伺う。</p> <p>(2) 臨時教員の待遇改善について 県採用の方と、尾張旭市採用の方とで単価が違う理由は何か。 尾張旭市で教員が不足しているのなら、県の金額より多くても良いのではないかとも思うが、少なくとも県と同額にすべきではないか。</p> <p>(3) 特別支援学校の退職教員の採用について</p> <p>(4) 保育士の手を借りることについて</p> <p>(5) 芸術科目の専科教員の充実について</p> <p>(6) 学校図書館司書の配置について</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>3</u>	学校給食費の無料化について
要 旨	新年度予算で学校給食の無償化に取り組む自治体が増えてきた。 改めて市の考えを伺う。

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>4</u>	公共交通の充実について
要 旨	<p>党市議団が行ったアンケートでも、公共交通の充実を求める意見が多数寄せられている。</p> <p>多様な意見に対応していくには、現在の市の公共交通＝あさび一号だけでは足りず、別の方法での充実も検討する時期に来ているのではないかと考える。</p> <p>あさび一号の充実とともに、市長が示すオンデマンドバスなども、公共交通の充実という方向性ではベクトルが合うものと思う。公共交通充実の、今後の取組についての考え方を伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>5</u>	シニアカーが移動しやすいまちづくり
要 旨	<p>市役所周辺には、多くの公共施設や商業施設があるが、その周辺の歩道の整備を進め、シニアカーが移動しやすいまちを実現することで、自立した生活を続ける時間が長くなるのではないかと考える。</p> <p>市役所周辺にある、尾張旭駅、体育館、郵便局、農協、大型商業施設、金融機関、中央公民館、文化会館、図書館など、</p> <p>これらを、シニアカーで移動するのに適した広い歩道で結び、整備を目指してほしい。</p> <p>歩道の確保には、乗用車の利便性を低下させてでも、安心して移動できる歩道の広さを確保していく、そうした考え方に未来を感じる。市役所周辺を一方通行にするなど、車線を減らしての対応を検討してはどうかと考える。</p> <p>市の考えを伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。

質問事項 No. <u>6</u>	ワクチン接種の取組強化について
要 旨	<p>(1) 带状疱疹ワクチンの補助制度実施について</p> <p>既に名古屋市で実施をされているが、対象年齢が50歳以上であれば、高齢者施策ということではなく、働き盛りの方の予防をはかり生産性の低下を防ぐ効果、後遺症を防ぐことで医療費支出の抑制にもつながると考える。</p> <p>改めて、当市で補助制度を実施する考えは無いかお聞きします。</p> <p>(2) 2度目の高齢者肺炎球菌ワクチン接種への補助について</p> <p>2回目以降の接種についても補助を求める声がある。愛知県保険医協会の調査によると、愛知県内で4自治体が2回目以降の助成も行っているが、当市で実施の考えはないか伺う。</p> <p>(3) インフルエンザの予防接種について</p> <p>インフルエンザについては、新型コロナウイルスの対応とインフルエンザの流行で、医療機関の逼迫を緩和するためにも、今年度は特別の補助制度が取り組まれました。市の対応に感謝している。一方、他市の取組を見ると、今後も受験生などに対して予防接種の助成を行う自治体もあるようだ。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大について、愛知県の感染拡大が関東や関西と比べて緩やかだったのは、公共交通の依存が低い地域だったことがあると考えている。それなら公共交通機関を使って通勤・通学する方は特に、インフルエンザ予防接種を受けるよう呼びかけることで、感染拡大抑制に効果が高いのではないかと考える。市内全体のインフルエンザの蔓延を抑制することができれば、市の支出抑制にもつながるのではないかと考える。生徒児童へのインフルエンザワクチン接種について、今後も無料で実施するお考えはないか伺う。</p>

※ 申し合わせ事項に留意する。